

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和3年4月14日

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	A	
横断的な課題	-					
地域重点政策	1 北アルプスの恵みと人々の知恵を生かした事業の振興				北アルプス地域振興局	
実施機関	北アルプス農業農村支援センター			担当課	所属	農業農村振興課
事業名	地消地産推進事業				電話	0261-23-6511
					E-mail	kita-nosei@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	地域における園芸品目の地消地産を推進するため、「食の地域循環」づくりに取り組む				
	現状と課題	【現状】 ・地元宿泊施設や飲食店に地元産農産物を利用する要望がある。 ・農産物直売所やAコープを拠点に地域内流通の仕組みづくりに取り組んできたが実現しなかった。 ・管内に仲卸業者による輸送事例がある。また、松本地域では他県に実績のある地域循環システムの実証が行われている。 【課題】 ・生産と利用現場が情報交換、評価のフィードバックをする体制が未整備。 ・利用現場の多様なニーズに、一律な対応は難しい。 ・地域内で核となる輸送手段がない。 ・農産物の年間(特に冬期間)を通じた安定供給。				
	内容 (変更後の内容)	(1) 地元産農産物の活用事例の紹介(6月) (※調理師会と打合せを行ったが、コロナの影響により開催保留のまま中止) 地元農産物を積極的に利用する白馬村内ホテルと連携し、生産者等に対して利用状況や客の反応を紹介することで、地消地産に対する理解を深め、意識を醸成する。 (2) 食の地域循環に関する研究会の開催(7月~2月 3回) 大北版地域内流通の仕組みづくりの可能性について事例研究、意見交換を2回実施(7/30、9/29; JA、運送会社、直売所、大町市、白馬村、大北調理師会など)。9月の情報交換会では松本で取り組まれている流通システム「やさいバス」の事例研究を講師を招いて行った。				
事業期間	令和2年7月		~	令和3年2月		
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	食の地域循環に関する研究会の開催	第2回情報交換会: 先進事例の研究	30,620	講師旅費、報償費 30,620円		
	合計		30,620			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	食の地域循環に関する関係者による意見交換の実施回数 (北アルプス地域に適合した物流のあり方と仕組みづくりについて意見集約し、今後の方向性を探る)。		年2回以上	情報交換会 ①7月30日 ②9月29日	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成	
事業実績・成果	①北アルプス地域に適合した農産物地域内流通システムについて、関係者で現状の課題を共有できた。 ②松本地域の「やさいバス」の事例研究の結果、講師の発案により松本の路線を白馬村まで延長し、4つのバス停を設置して試運転につながった。次年度以降の生産者、受注者とも登録が増え、利用状況によっては本格運行となる見込み。					
今後の方向性	農産物の地域内流通において課題となる、新たな受注配送システムの開発や代金回収について既存のシステムを活用できることが魅力であり、まずは地域への適合性等、今後の状況を見守る。					